福祉のまちづくり広報誌

ありば

VOL.52
2026

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、
「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介する広報誌、
それが「ありば」です。





表紙／「五月の風（こがつのかぜ）」
大原 雅代（おおはら まさよ）さんの作品

第72回県美展で、ハートフルの部・知事賞を受賞した大原雅代さんの「五月の風」。

作品のモデルとなったのは、大空を元気に泳ぐ「こいのぼり」です。細かく裂いた古布を使う裂織（さきおり）という技法でピンク色はコスモスの花のような優しい色合いを、青色は海をイメージして、さまざまな色を重ねて丁寧に織り上げました。

「心の色を大切にし、見ている人が楽しい気持ちになれるように作りました」と語る大原さん。作品には、日々の暮らしやこれまでの素敵な出会い、そして支えてくれる人たちへの深い感謝の気持ちを込めたといいます。

これからも作品を通して、たくさんの笑顔と温もりを届けてくれそうです。

CONTENTS

[特集]
障害者法定雇用率引き上げ
～あなたの「働きたい！」企業の「雇用したい！」を応援します！～ PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント
下薗 左和子さん PAGE 3

ありば通心
一般社団法人ブレス
重心児デイサービスエンゼル PAGE 4

ハードルを越えて
上浦 和也さん PAGE 5

バリアフリー最前線
多世代交流施設「こころば」 PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ
・農福連携マルシェ
・障害者保健福祉大会
・スポーツ・レクリエーション用具の貸出し
・アルコール関連問題啓発週間 PAGE 7

鹿児島県